

2月10日

水曜日【先負】

中日新聞東京本社

〒100-8505

東京都千代田区内幸町二丁目1番4号

☎03(6910)2211

(昭和31年2月25日第3種郵便物認可)

http://www.chunichi.co.jp/chuspo/

武藤芳照の正義



元プロ野球選手の清原和博容疑者が、覚せい剤取締法違反(所持)容疑で、自宅マンションで逮捕された。西武や巨人に所属し、プロ3年間、2338試合で212

48歳の明暗

とともに水泳チームドクターとして随行し、裏方を支えていた間柄だ。長官就任を、水泳仲間の一人として、大いに喜ぶとともに誇りにも感じている。

長官就任のあいさつでは「現役選手時代は、(背泳が専門で)後ろ向きでしたが、長官としては前向きに仕事に取り組みたい」と、彼一流の明るさとユーモア精神を發揮した。

スポーツ界での48歳と言えば、サッカーの三浦知良、中山雅史、

530打点の通算成績を残し、存在感のある強打者として活躍した。1967(昭和42)年生まれで48歳だ。

同じ48歳で、昨年10月に初代スポーツ庁長官に就任し、わが国のスポーツ行政のトップとして懸命に尽力しているのが、オリンピック水泳の金メダリスト鈴木大地さんだ。私は、ロサンゼルスオリンピック(1984年)、ソウルオリンピック(88年)と、彼ら

代が社会に大きなインパクトを与えた。同名の映画(大映、吉村公三郎監督、山村聡主演、1956年)にもなっており、さらに話題を広がった。

時代背景が若干違っているが、55歳定年の時代に、いわゆる初老の50歳を迎えるサラリーマンが、退職を現実のこととしてとらえられる時期に、毎日の生活自体はさして不自由はないが、心の奥底に潜む後悔や不安、欲求を拭えない。それを基盤として、さまざま

な日常への「抵抗」を試みるという物語だ。

「もう若くはないが、まだ老いてはいない」という年代の男性の心情と行動は、現代社会にも相通するよう

に思う。清原容疑者の犯罪に結びついた真の心情は、不明だが、人生を前向きに生きてきたスポーツマンが、誤って後ろ向きに行動した結果の事件だろう。スポーツ界に、48歳の明暗が分かれた。(日本大総合研究所長)

裕二、天海祐希、ニコール・キッドマン、沢村一樹、政治家の二位ではダメですか?」の運動、演歌歌手の坂本冬美など多士済々の年代だ。

石川達三の小説「四十八歳の抵抗」(1958年)は、書名が当時の流行語にもなるほど、「48歳」という年